



# 広州医科大学「在宅ケアと介護保険」における学術交流

2023年8月30日から9月2日までの4日間、広州医科大学(双一流大学)からの招致で訪問し、超高齢化社会を迎える中国の在宅ケアを展望する学部生への講義と老年看護の国際フォーラムでの学術交流を行い、国際連携や日本と中国の間の架け橋となることをめざすプログラムへ参加しました。

## 学術交流スケジュール：

- 8/30 PM 広州白雲国際空港に到着
- 8/31 AM 広州医科大学看護学生への「在宅ケアと介護保険」の対面講義
- PM 日中老年看護における交流会参加  
広州医科大学看護学部の視察
- 9/1 AM 日中訪問看護と在宅ケアの国際フォーラム参加
- PM 中国の文化体験
- 9/2 AM 広州白雲国際空港から帰国



8月31日午前

広州医科大学看護学生に「在宅ケアと介護保険」の対面授業を行い、グループワークで作成した退院支援とケアプラン案を発表し、教員が講評して評価しました。その後、当授業のまとめを実施し、優秀学生の発表と授業修了証書を授与しました。

8月31日午後

広州医科大学看護学院副院長徐学虎教授、教員5人および国際交流センター馬暎潔副所長との日中老年看護交流会に参加し、訪問看護や介護保険などの意見交換を行いました。その後、広州医科大学看護学部内を視察し、看護技術実施・教育センターでの産婦人科VRシステム、小児科シミュレーター等を体験しました。



9月1日午前

日中訪問看護および在宅ケアに関連する国際フォーラムに参加しました。当日は、広州医科大学および各所属病院の教員と学生、トランスレーショナルリサーチ委員会の委員と各大学の専門家合計150人を超え、オンライン参加者も加わり盛会となりました。今大会では、中谷久恵教授、二宮寿美准教授、大学院生井上ゆり子と彭徐鑫が発表しました。



9月1日午後  
文化体験として中国  
第3位の人口都市である  
広州市内を見聞し、  
永慶坊での歴史探検、  
中国の茶文化を体験  
しました。  
集合写真の背景にあ  
る文字は「让城市留  
下记忆，让人们记住  
乡愁」、訳語は「街  
に思い出を残そう、  
人々にホームシック  
を覚えさせよう」で  
す。



9月2日午前  
最終日の早朝、見送りに副院長徐学虎教  
授が直接ホテルに来られ、中国流の礼儀  
による最後の挨拶による心のおもてなし  
を受けました。

